

# 赤十字国際ニュース

2025年 第28号 2025年5月2日

(通巻 第1734号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6674-1004

E-mail: [kokusai@jrc.or.jp](mailto:kokusai@jrc.or.jp) <https://www.jrc.or.jp/>

## 【速報13】ミャンマー地震： あらゆる活動を支える赤十字ボランティア

赤十字が掲げる7原則のひとつに「奉仕/Voluntary Service」があります。世界中の赤十字社・赤新月社の活動はボランティアによって支えられており、この赤十字ボランティアは、自らの利益を求めず常に救うべき人びとのために自発的に活動にあたっています。

今回のミャンマー地震に対する救援活動も、赤十字ボランティアを抜きにしては語ることができません。これまでに最前線で救援活動に参加したミャンマー赤十字のボランティアは560人に上ります。被災地域外から派遣されたメンバーも少なくない中、発災直後から常に、人道ニーズの大きさに向き合いながら、休みなく活動を続けてきました。

被災地への派遣を終えたボランティアたちが元の活動地域に戻る際には、こころのケアやデブリーフィング（報告・振り返り）が行われます。これらに立ち会った国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）職員は、ボランティアの多くが「少し休んだらまた被災地で赤十字ボランティアとして被災した人びとを助けるお手伝いがしたい」と話す姿が印象的だったと言います。



被災された方々の搜索・救助（上）や救援物資の配付（下左）、避難者用テントの設置（下右）など、あらゆる活動の推進力となっているミャンマー赤十字社のボランティア©MRCSS

## ■写真でみるミャンマー地震救援活動

これまでの速報などでも現地で展開される救援活動の写真を掲載してきました。今号では、その中でも特に印象的なものを数枚ピックアップします。

また、[こちらのページ](#)ではこれまでの速報を一覧でご覧いただけるほか、随時活動中の写真を掲載していきます。どうぞご覧ください。

 <p>3月28日の地震直後から被災された方々の搜索・救助など、最前線での活動に当たってきたミャンマー赤十字社のボランティアや職員©MRCS</p>	 <p>マンダレーなどでは地震のあとに火災に見舞われた地域もあり、景色は一変した©MRCS</p>
 <p>地震により電力や水道網といったインフラ機能の多くも遮断された。ミャンマー赤十字社の給水・衛生チームは発災直後から、安全な水（飲料用水および家庭用水）の提供を続けている©MRCS</p>	 <p>今回の地震では医療施設の多くも被災したことから、ミャンマー赤十字社はマンダレーとサガインで巡回診療を開始し、休みなく活動を続けている。©MRCS</p>
 <p>防水シートやビスケットなど、ミャンマー赤十字社からの救援物資を受け取る被災された方©MRCS</p>	 <p>被災された一人ひとりの声に耳を傾け、必要とされる支援を届けるための努力が続けられている©IFRC</p>

 <p>被災された方々の状況を理解し、最も必要とされる支援を届けるためにミャンマー赤十字社は聞き取りを継続している©MRCS</p>	 <p>被害の大きさを受け、モン州など被災地域外からも赤十字ボランティアが派遣された©MRCS</p>
 <p>ミャンマー赤十字社から、離れ離れになった家族の再会を支援する活動を紹介するリーフレットを受け取った被災された方©MRCS</p>	 <p>子どもたちが自由に遊んだり感情を表現したりするための場所として、サガインにある僧院に「チャイルドフレンドリースペース」が設置された©MRCS</p>
 <p>隣国タイでも 58 人が犠牲となる被害が発生。タイ赤十字社は、ビルの倒壊現場で搜索等に当たるほか、ミャンマーに向けた救援物資の寄贈も行った©TRCS</p>	 <p>隣国タイでも 58 人が犠牲となる被害が発生。タイ赤十字社は、ビルの倒壊現場で搜索等に当たるほか、ミャンマーに向けた救援物資の寄贈も行った©TRCS</p>
 <p>ヤンゴン国際空港にて、日赤が寄贈した救援物資を</p>	 <p>甚大な被害を受けたマンダレーでミャンマー赤十字社が展開</p>

受け取る日赤職員（写真左）  
©JRCS/MRCS/IFRC

する巡回診療に帯同する日赤看護師（写真中央左）©MRCS/IFRC

日赤では今後も、ミャンマー赤十字社や連盟、赤十字国際委員会（ICRC）、姉妹赤十字社とともに被災地のニーズに寄り添う支援を続け、またその様子をお伝えしてまいります。引き続き、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

### 「2025年ミャンマー地震救援金」

受付期間：2025年4月1日（火）～2025年6月30日（月）  
使 途：連盟、ICRC、ミャンマー赤十字社、タイ赤十字社および日赤が行う、ミャンマーおよびタイにおける救援・復興支援活動や防災・減災活動等に充てられます。



## 赤十字は、 動いてる！



日本赤十字社



### メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それをとりまく最新ニュースをメールでお届けします。

メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックしていただか、二次元コードを読み込んでいただいた先の登録フォームからお願ひいたします。

